

山北宮農だより

令和6年10月
TEL 15-1311



～山北支店経済窓口営業時間変更のお知らせ～

9月30日(月)は仮決算棚卸のため、経済窓口は12時に閉店致します。
また10月1日(火)は仮決算監査のため、13時からの営業となります。
ご迷惑をお掛け致しますが、何卒よろしくお願い申し上げます。
※金融共済窓口は、両日通常営業の9時～15時となります。

——【温州みかん】 *下線が引いてあるものは重要防除です。必ず防除を行いましょう。——

病害虫防除

9月下旬～10月中旬

○カメムシ類 スタークル顆粒水溶剤 2,000倍 50g/水100㍓ 収穫前日 3回 又は
ロディー乳剤(劇) 2,000倍 50ml/水100㍓ 収穫7日前 4回

10月下旬～11月上旬

○ハダニ類 オマイト水和剤 750倍 133g/水100㍓ 収穫7日前 2回

11月中旬

○貯蔵病害 ベフトップジンフロアブル(劇) 1,500倍 66ml/水100㍓ 収穫7日前 3回
(青かび病、緑かび病、軸腐病) 又は、トップジンM水和剤 2,000倍 50g/水100㍓ 収穫前日 5回

※ただし、オマイト水和剤とベフトップジンフロアブルの混用は避けましょう。

* 秋に発生したミカンハダニは果実に移動し着色不良の原因となりますので散布ムラのないように防除しましょう。

浮皮軽減 蚩尻期

○フィガロン乳剤 3,000倍 33ml/水100㍓ 収穫7日前まで 2回散布量 300㍓/10a
1回目 蚩尻期に散布 2回目 蚩尻期の2週間後

* 7～8月にフィガロン乳剤を散布している園や、樹勢が低下している樹には散布を控えましょう。

摘果

大津・青島は大玉になりやすいので、収穫に向けてそれぞれの樹の着果量に応じ、不良果実を摘果します。
(スソ、フトコロの果実から実施し、上部の天なりの大玉は最後に摘果します)

——【中晩柑】——

病害虫防除

基本防除は上記みかんの項を参照して下さい。

施肥 10月下旬

○秋肥 特選みかん配合 655 100kg/10a (果実内容の向上・樹勢回復のため)

* 中晩柑の防除における農薬の使用日数・使用回数には十分に注意しましょう。

——【レモン】——

施肥 10月下旬

○秋肥 特選みかん配合 655 100kg/10a (果実内容の向上・樹勢回復のため)

○収穫 10月～ 傷がつきやすいので、果実の取扱いは丁寧に行う。

【キウイフルーツ】

病害虫防除 10月上旬

果実軟腐病・貯蔵病害 ロブルール水和剤 1,500倍 66g/100ℓ 収穫前日 4回

施肥

樹勢回復のために9月に分肥した残り分キウイフルーツ配合40kg/10aを10月中旬に施肥します。
9月の施肥を行っていない方はキウイフルーツ配合100kg/10aを10月中旬に施肥しましょう。

【う め】

施肥 ○土壌改良 10月上中旬 苦土石灰 200kg/10a

○秋肥施用 10月中下旬 梅配合 120kg/10a

病害虫防除 10月上旬～11月上旬 2週間間隔で2回

○かいよう病 多発園ではICボルドー66D 50倍 2kg/100ℓ 葉芽発芽前まで

※カイガラムシの防除のためアタックオイルを散布する場合は、ICボルドーと混用せず、
散布間隔を2週間以上空けてください。

【お 茶】

秋整枝 10月上中旬 (平均気温で18℃程度になる時期)

一番茶のために、摘採面を揃えます。(葉層は8cm以上)再萌芽の防止や寒害の影響を受けないように、
時期をはずさないようにしましょう。

(整枝位置の目安) 一番茶のみ摘採の場合：夏整枝位置の5cm上。

二番茶を摘採した場合：二番茶摘採位置もしくは二番茶整枝の5cm上。

敷き藁 秋整枝以降 冬季の根に対する乾燥と寒害の防止のため敷き藁をしましょう。

病害虫防除 秋整枝後 11月

○カンザワハダニ アタックオイル 100倍 1ℓ/水100ℓ

チャトゲコナジラミ

(晴れた日を選んで防除すると効果的です。)

【水 稲】

スクミリンゴガイ対策 今年度も発生拡大を阻止するため、水田では収穫後必ず耕耘(速度はゆっくり、ロータリー回転は速く)を行い、貝を傷つけ越冬させないようにしましょう。また、水路や排水溝なども越冬場所となるので、捕殺、清掃を必ず行いましょう。(※捕獲した貝は道路等には捨てないようにしましょう。)

【お知らせ】イミノクタジン酢酸塩を含む農薬の登録削除について

下記の品目について、農薬登録削除がありましたのでお知らせいたします。

【対象品目】

ベフラン液剤25・ベフトップジンフロアブル・ポリベリン水和剤・ベフドー水和剤
ベフキノン水和剤

・令和7年(2025年)10月に登録失効となっておりますので、ご注意ください。
※詳しくはお近くの営農経済センターでご確認ください。